

議員提出議案第4号

訪問介護の基本報酬の引上げを求める意見書

上記の議案を提出する。

令和8年3月31日

提出者	杉並区議会議員	田中朝子
	同	奥田雅子
	同	横田政直
	同	てらだはるか
	同	松尾ゆり
	同	山本ひろ子
	同	あかねがくぼ舞
	同	山田耕平

杉並区議会議長 木梨 もりよし 様

## 訪問介護の基本報酬の引上げを求める意見書

介護保険制度における訪問介護は、要介護者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続するために不可欠なサービスである。

しかしながら、引き続く人手不足や物価高騰の影響に加え、令和6年度の介護報酬改定において訪問介護の基本報酬が引き下げられたことにより、訪問介護事業所の経営は大変厳しい状況に置かれている。

そのため、事業所の減少や休廃業の増加が見られるなど、地域におけるサービス提供体制の維持が危ぶまれている。また、介護報酬の水準が十分でないことは、介護従事者の離職が進む要因の一つともなっており、人材確保の面からも深刻な課題となっている。

訪問介護は、利用者の在宅生活を支える基盤となるサービスであり、その提供体制が弱体化すれば、必要なサービスを受けられない事態が生じかねない。

よって、杉並区議会は、国会及び政府に対し、訪問介護サービスの安定的な提供体制を確保するため、下記事項を速やかに実施するよう強く求める。

### 記

1. 訪問介護の基本報酬を適正な水準に引き上げること。
2. 令和8年度に実施される期中改定の内容では、訪問介護事業所の経営実態に十分対応したものとは言えないことから、第10期介護保険事業計画及び令和9年度介護報酬改定において、訪問介護サービスの安定的な提供体制が確保されるよう必要な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和8年3月31日

杉並区議会議長名

衆議院議長

参議院議長 宛

内閣総理大臣

厚生労働大臣